

企業体質を強化するITとマネジメント

最新のIT(情報技術)を積極的に活用し、グループ全体の経営効率化に努めています。また、経営を着実に遂行していくための方針と仕組みを明確に規定しています。



ITグループ・クラウドで一体経営を実現

今、コンピューターの世界では「クラウド」が大きな注目を集めています。複数のコンピューター群が連動し、ユーザーに高度なサービスを提供する仕組みです。カシオは、グループ企業間の壁を取り払い、スムーズな一体経営を実現するため、「グループ・クラウド」の構築を進めています。

サーバー統合によるクラウド基盤づくり

カシオでは、2004年より、社内に分散していたサーバーの統合を続けています。1台のマシン上で複数台分を稼働させる「仮想化技術」でサーバーを集約し、運用を効率化するとともに、データベースの共有化やシステム同士の連携がしやすいクラウド基盤づくりを行っています。また、台数を減らすことにより、導入コストを抑え、CO₂の排出も削減しています。当初社内に約1,000台あったサーバーのうち、2010年度までに600台を統合し、年間約90万kWの電力量を削減。これは約326トンのCO₂削減に相当します。

世界中どこでも使える業務システム

グループの経営情報を一元的に管理し、生産・販売・会計などの基幹業務を共通化するため、ERP(Enterprise Resource Planning)と呼ばれる統合システムを導入しています。人事・給与管理などの社内システムも、グループでの共通化を進めています。また現在、クラウド基盤を活用して、海外営業拠点向けの販売システムを、世界中のどこでも使えるよう標準化に取り組んでいます。これによって新興国などへのスピーディな進出や売上拡大が可能になります。

リアルタイムでグループ経営情報をモニター

グループ共通の業務データをクラウドに集約。グループ経営戦略に必要な社内・社外のさまざまな情報を、リアルタイムで見られる経営情報システムの構築に取り組んでいます。次々と流れ込んでくるデータを基に、経営計画の進捗をとらえ、素早く次の施策を立てられます。クラウド上でグループ各社が同じ情報、同じ分析視点、同じ指標を共有することにより、統一された戦略を立てることが可能です。

災害リスクへの対応

災害による停電発生などのリスクにも備えています。重要な業務を支える基幹システムは、自社内と社外の2カ所のデータセンターに分散させておき、地震などで一方が稼働できなくなった時は、もう一方ですべての基幹システムが作動するようにしています。

MANAGEMENT 健全で公正な経営を目指して

自らの手で独創的な製品を作り、社会の進歩に役立てたい。「創造 貢献」の経営理念は、こうした創業者の志から生まれました。この理念をしっかりと継承し、カシオで働く一人ひとりに行き渡らせるとともに、責任ある企業として、企業価値を高め、透明性の高い経営を実践していくため、さまざまな取り組みを行っています。

カシオ創造憲章

事業を通じた社会貢献をうたうカシオの経営理念「創造 貢献」は、現在のCSRの概念に通じています。この経営理念を常に従業員が意識して実践するために「カシオ創造憲章」および具体的な行動指針を定めています。ここではCSRの3つの側面(経済・環境・社会)とコンプライアンスに対する考え方が含まれています。

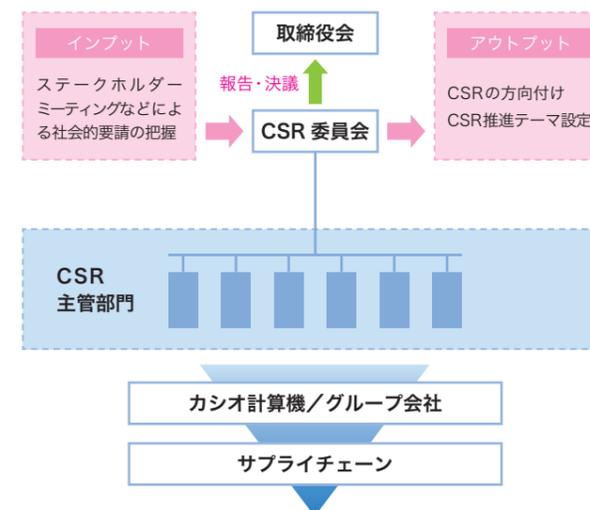
- 第1章 …… 私たちは、独創性を大切にし、
普遍性のある必要を創造*します。
- 第2章 …… 私たちは、社会に役立ち、
人々に喜びと感動を提供します。
- 第3章 …… 私たちは、プロフェッショナルとして、
常に誠実で責任ある言動を貫きます。

*普遍性のある必要を創造：誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。

CSR委員会

CSR経営を確実に推進するための仕組みとして、取締役会の下部にCSR委員会を設置しています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会からの要請を基に取り組むべきテーマを設定しています。CSR主管部門ではテーマ推進の年間計画を策定し、マネジメントサイクルを用いて課題の解決に努めています。

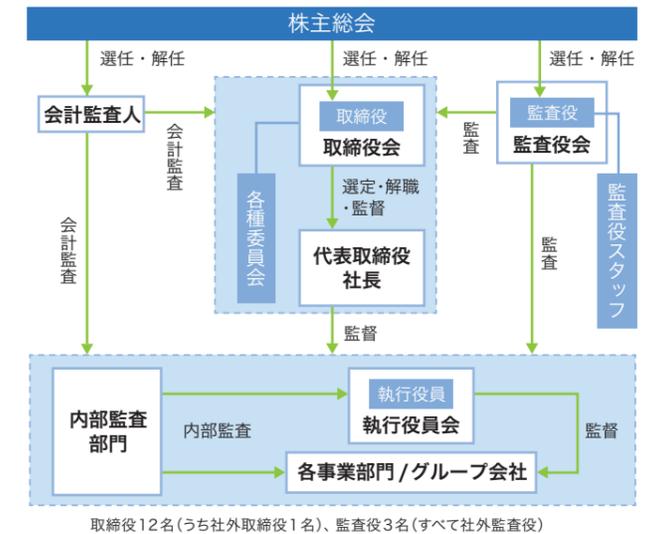
CSR委員会体制



コーポレート・ガバナンス

経営目標を確実に達成し、企業価値を継続的に高めていくためには、迅速な意思決定や適切な業務遂行とともに、経営の健全性と透明性を高める経営監視機能の強化が重要です。執行役員制度の導入や社外取締役・社外監査役の選任など、体制面の充実を図り、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

カシオグループ倫理行動規範を基盤として、公益通報ホットラインとリスクマネジメント体制の運営により、三位一体のコンプライアンスマネジメントを推進しています。

カシオグループ倫理行動規範

役員および従業員の一人ひとりが、業務遂行上はもとより日常においても、行動する上での具体的な判断の拠りどころとして「カシオグループ倫理行動規範」を定めています。

リスクマネジメント

「リスク管理基本方針」を制定し、リスク管理委員会を設けて、リスク対策の実施とマネジメントサイクルの構築を推進してきました。現在はCSR委員会で推進状況のモニタリングを行っています。

公益通報ホットライン

社内・社外の両方に専用の通報窓口を設け、問題の早期発見と予防に努めています。通報者の保護はもちろん、不適切な行為に対しては毅然と対応し、中立公正な窓口として運営しています。

グローバル・コンパクトへの加盟

グローバル活動を行う企業として、国際社会の持続的成長に寄与するため、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に参加。経営トップからのメッセージ

によりグループ全体への趣旨の浸透を図るとともに、テーマに応じてグローバル・コンパクトの分科会に参加し、理解を深めるとともに定着を図っています。

